

# 日本地質学会2019年度第4回理事会議事録

日 時：2020年4月4日（土） 14：00-17：00

会 場：日本地質学会事務局（千代田区・神田）及びWEB会議

**出席役員 理事**(43名 \*印はWEB参加)：天野一男\*・石橋 隆\*・岩井雅夫\*・ウォリス サイモン\*・大藤 茂\*・緒方信一\*・岡田 誠\*・笠間友博\*・狩野彰宏\*・神谷奈々\*・亀尾浩司\*・亀田 純\*・川端清司\*・北村有迅\*・小松原純子\*・小宮 剛\*・坂口有人\*・沢田 健\*・菅沼悠介\*・高嶋 洋\*・竹内 誠\*・竹下 徹\*・田村芳彦\*・辻森 樹\*・中澤 努\*・奈良正和\*・西 弘嗣\*・早坂康隆\*・廣木義久\*・福富幹男\*・星 博幸\*・保柳康一\*・三田村宗樹\*・道林 克禎\*・矢島道子\*・山路 敦\*・安藤寿男・磯崎行雄・斎藤 眞・佐々木和彦・杉田律子・平田大二・松田博貴  
**監事**(1名)：山本正司\*

**欠席役員 理事**(7名)：井龍康文・折橋裕二・菖蒲幸男・田村嘉之・楡井 久・山崎晴雄・山口耕生  
**監事**(1名)：藤本光一郎（以上、敬称略）

\*松田会長より挨拶

\*成立要件：理事総数50名の過半数26名 本日の出席者 43名で本理事会は成立。

\*議決：出席者の過半数 26名

\*開催にあたって、保柳理事および高嶋理事を書記に指名

## 報告事項

### 1. 執行理事会報告

齋藤常務理事より、配付資料（報告資料01, 02：執行理事会議事録2019-6, 7, 8）に基づき、執行理事会議事概要が報告された。また、緒方理事より、前回理事会以降の逝去者として名誉会員4名・正会員3名のご逝去が報告され、参加者全員で黙祷を捧げた。

地質学会提案の研究計画「地球惑星研究資料のアーカイブ化とキュレーションシステムの構築」が内閣府の大型研究（マスタープラン2020）に採択されたことについて、小宮理事から協力方法や内容等の説明が行われた。

### 2. 理事及び委員会等報告

#### 1) 行事委員会

岡田理事より、名古屋大会の日程や準備状況、スケジュール等について報告が行われた。なお、新型コロナウイルスへの対応については、7月下旬までに開催方法などを含めた判断が必要とされた。

#### 2) 地質学雑誌編集委員会

大藤理事より、編集状況について報告が行われた。

#### 3) アイランドアーク編集委員会

田村（芳）理事より、編集状況について報告が行われた。また、着目されるメトリクス指標についてはツイッターの活用が有効であることが説明された。

#### 4) 矢島理事より125周年記念出版物「はじめての地質学」の第四刷が、2020年3月16日に出たことが報告された。なお、出版部数の累計は8000部となり、順調に売上げはのびている。

## 審議事項

### 1. 2019年度事業実施概要

松田会長より、2019年度事業計画に照らした事業実績の概要について説明があり、学術大型研究計画が内閣府の大型研究（マスタープラン2020）に採択されたことや地学オリンピックで国別1位となったことなどが報告された。西理事より、新型コロナウイルス対応として、学会事務局員が在宅勤務となった場合も雇用形態を維持したい旨、追加説明され、すべて承認された。

## 2. 決算概算

西理事より、2019年度決算について説明が行われ、会員減少分の収入減少があったものの、支出も予算に対し抑制され、赤字幅が抑えられたことが報告された。齋藤常務理事から、赤字について対応策の検討が必要と補足され、承認された。

## 3. 2020年度事業計画

松田会長より、2020年度事業計画は、2019年度計画を踏襲することが説明された。新型コロナウイルスの問題により先行きが不透明ではあるが、コストをかけずに会員サービスを充実し、組織のスリム化を図っていききたいとの意向が示され、承認された。

## 4. 2020年度予算案

西理事より、2020年度予算は、会員減少分の収入減少を見越した予算編成となっており、新型コロナウイルスの影響については、基本的に補正予算を組まずに対処する方針が説明された。また、125周年記念事業引当金はすでに125周年が過ぎているため、周年記念事業引当金という名称に変えたいと説明があり、すべて承認された。

## 5. 学会組織再編について

佐々木副会長より、組織のスリム化を目指すにあたり、これまでに規則と整合性が取れていなかった組織図の修正を行い、今後、再編可能なものを選別し、必要な規則改正を2021年5月の総会で実施することが説明された。理事会と執行理事会の関係について質疑・応答の後、採択された。

## 6. 会員管理業務効率化に関連した理事会への審議事項

緒方理事より、事務負担の軽減のために、現在同時期に行われている選挙事務と名簿作成の時期を見直し、名簿の発行を一年遅らせること、また名簿の在り方について検討を始めることが提案され、了承された。なお、具体的な事務改善方策案を募ることとなった。

## 7. 名誉会員候補者の選出について

名誉会員推薦委員会佐々木委員長より、西村裕二郎会員並びに小松正幸会員を名誉会員候補者として選考したことが報告され、総会に推挙することが承認された。

## 8. 各賞受賞候補者の決定について

各賞選考委員会亀尾委員長より、受賞候補者の選考結果について報告がなされ、審議の結果、以下の各賞受賞候補者が決定された。

- 地質学会賞 1件 山路 敦会員
- Island Arc賞 1件 John Wakabayashi氏
- 論文賞 1件 星 博幸会員
- 研究奨励賞 2件 菊川照英会員並びに羽地俊樹会員
- 学会表彰 2件 株式会社浜島書店並びに鹿野和彦会員・齋藤真会員・川畑大作会員・尾崎正紀会員・巖谷敏光会員・脇田浩二会員・湯浅真人会員・坂 幸恭会員(故人)・齋藤靖二会員・宮下純夫会員、産業技術総合研究所地質調査総合センター

また、個人の功績に対する表彰の在り方について質疑が行われたが、このことは、本日の追加議題で検討を行うことが報告された。

## 9. 学術大会講演要旨の電子化について

岡田理事より、学術大会要旨電子化のアンケート調査を行った結果、J-STAGEに登録できなくなる課題等が指摘されたものの、回答者の93%から賛成を得たことが報告された。名古屋大会から試行的に実施し、予算措置等が必要な課題は次年度以降に検討することが提案され、承認された。

## 10. 「小さなESの集い：小，中，高校生徒「地学研究」発表会」の名称変更について

星理事より、「小さなESの集い：小，中，高校生徒「地学研究」発表会」の名称を「日本地質学会ジュニアセッション」に変更し、一方で開催回数は「小さなESの集い」から引継ぐことで継続性を担保するとの提案がなされ、承認された。

## 11. 総会議案の決定

齋藤常務理事より、日本地質学会第12回総会の開催と、第11回惑星フォトコンテスト表彰式の中止、ならびにWEB方式による総会開催への変更について提案され、承認された。

## 12. その他

### 1) 地質学雑誌の編集体制の変更について

大藤編集委員長より、4名の委員の退任と補充した新規委員による新体制が提案され、承認された。

2) 各賞選考の在り方及び選考規定の改定等について

磯崎理事より、各賞選考にあり方について、学術的な業績による評価と学会貢献による評価の整理を行い、年齢制限の枠組みを変えるなど抜本的な改革に着手し、選考規定の改定を開始する提案がなされ、了承された。

\*平田副会長より閉会挨拶

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び出席監事・理事は次に記名・捺印する。

2020年4月24日

理事：議長 杉田律子  
理事：副議長 道林克禎  
代表理事：会長 松田博貴  
(以下、出席理事氏名省略)